



## 公園や庭でよく見る鳥



### キジバト (ハト科)

見られる時期 1 2 3 4 5 8 7 8 9 10 11 12

市街地から山地まで普通に生息しています。ハトの仲間のヒナは、親の分泌するビジョンミルクで育つため昆虫など動物質の餌が少ない秋や冬でも繁殖ができます。



### ツバメ (ツバメ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 8 7 8 9 10 11 12

三月中旬頃にやって来る夏鳥で、お椀型の巣を作ってヒナを育てますが、人家で営巣することが多く昔から最も親しまれてきた野鳥です。



### コシアカツバメ (ツバメ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 8 7 8 9 10 11 12

ツバメより少し大きく、背中の腰が赤くなっていることから名前が付いています。コンクリートの建物や橋げたなどに泥利を貼り付けたような巣を作ります。





### ヒヨドリ (ヒヨドリ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

市街地から山間部までいたるところに生息しています。以前は山地で繁殖していましたが、最近では街路樹や公園などでも繁殖するようになりました。



### ジョウビタキ (ツグミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

明るい林や河原の藪、市街地の公園や庭にもやって来るのでよく見かけます。翼に白斑があるので紋付鳥とも呼ばれます。



### ツグミ (ツグミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

秋に渡ってきた当初は山地に群れになっていますが、しだいに分散し市街地にも現れます。農地や空き地などでチョコチョコあるいて餌の虫をさがしています。



### カワラヒワ (アトリ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

主に草の種子を餌にしますが、喉にある“そのう”という袋に種子を溜め込めるので、餌場から離れた草の無いような市街地でも繁殖できます。







## 八幡川野鳥ガイドブック

### スズメ (ハタオリドリ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

繁殖期は昆虫を主食しており、秋から冬には草の種子や人間の出す生ゴミから餌を探しています。人間に最も近いところで生活している野鳥です。



### ムクドリ (ムクドリ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全体に黒っぽく顔が白、くちばしと足がオレンジ色に見えます。畑や芝生などで餌の虫を探して歩いています。秋から冬には集団でねぐらをつくります。



13

### ハシボンガラス (カラス科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

普通に見られるカラスの仲間で、くちばしが細くガァガァと濁った声で鳴きます。昼間は単独か小集団で行動しますが、夕方には集団でねぐらを作ります。



### ハシブトガラス (カラス科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

くちばしが太くて顔が出っ張ってカーカーと澄んだ声で鳴きます。八幡川周辺ではハシボンガラスより数は少ないようです。



14

公園や庭でよく見る鳥





## 川や田畑でよく見る鳥



### コサギ (サギ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全身真っ白でシラサギ類では数も多く、普通に見られます。じっと立って待ち伏せしたり、小走りに追いかけたり、片足で川底をかき回したりして魚などを捕らえます。



### アオサギ (サギ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

日本のサギの中では最も大きなサギです。八幡川では河口から上流までよく見かけ、じっと水中をにらんで魚が近くに来るのを根気よく待って捕らえます。



### コガモ (カモ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

コガモと言っても子どものカモではなく、小さいカモと言う意味です。八幡川に来るカモの間では一番早く渡ってきます。

